

No. 1237

無人の胴上げ、巨人V2

無人の後楽園球場に胴上げの歓声が響き渡った。9月23日、巨人はプロ野球セ・リーグ2連覇を決めた。長島監督は「選手がそれぞれの能力を発揮し、期待にこたえてくれた。優勝はいつでもうれしい」。9月22日に中日を破りマジック「1」になっていた巨人はこの日試合なし、2位ヤクルトが広島に負けたため11試合を残して通算30回目の優勝となった。巨人は10月22日からの日本シリーズで4年ぶりの日本一の座をめざすことになった。

混迷続く社会党

9月26日から東京の教育会館で開催された日本社会党第41回定期全国大会。社会党は先の参院選挙で敗北し、成田委員長、石橋書記長の辞意表明以来、党改革を推進してきた。その中で、協会派と反協会派の激しい抗争があった。大会初日、26日は日程通り進んだものの、注目の新執行部選出に移り、がぜん派閥間の争いが表面化してきた。成田委員長らが飛鳥田横浜市長に委員長就任の要請を行っているさ中、新しい流れの会所属の榑崎、田、秦の三氏が社会主義協会規制を中心とする党改革案作りと人事折衝に不満を表明し、離党する旨、記者会見した。三氏の離党は去る3月の故江田三郎氏の離党以上の危機を与え、党内は大きなショックに包まれた。この事態の中、唯一の後任委員長候補と見られていた飛鳥田氏は就任を拒否、社会党大会は大混乱に陥った。一日延期された大会3日目。代表者会議が開かれ、最後の解決策がねられた。が、大会混乱の衝撃は大きく、まだまだ社会党の混迷は続く。